

第4回中野市美術館 運営準備委員会

期日：令和8年7月14日（火）午後2時

場所：中野市役所4階 会議室41.42

目次

- 1 これまでの意見について (14 : 05～14 : 35)
- 2 その他スペースの活用方法等について (14 : 35～15 : 05)

1 これまでの意見について

- 1 - 1 名称について
- 1 - 2 開館時間及び休館日について
- 1 - 3 展示物について
- 1 - 4 観覧料について

1－1 名称について

○主な意見

- ・美術館は大きい建物で登録博物館のイメージがあるので、当該施設は「博物館類似施設」の位置づけのため、「〇〇美術館」という名称ではなく、「文化交流館」程度の名称でよいのでは。
- ・交流館という名称だと、美術作品が展示されているというイメージがわからないので、美術的なものは絵画だけではないと思うが、美術的なものを中心にイメージしてみると、「文化」交流館ではなく「美術」交流館みたいなほうがいいのではないか。
- ・当委員会意見が拮抗しているようであれば、公募制での実施はどうか。（ロゴ等も含む）
- ・「ミュージアム」になると、どちらかといえば博物館のイメージがある。
- ・「芸術」と「美術」では、当該施設には「芸術」が適している。また、「芸術」を「アート」とする表現が現代の感覚に適している
- ・「アート」は、小中学生や園児が作った作品を市民の皆さんに見てもらったりという中で、交流をする事になると思うので、「アート交流館」のような感じで、例えば音楽を聞く交流の場みたいなところのイメージというのもあるような気がする。
- ・名称の一部に「ふるさと」を入れてみては。
- ・話題性で日本一名前の長い名称（66文字以上）はどうか。（例）「信州中野市 松に昔の風が吹く高く青い空にチョウゲンボウの雲切る眼下 ひかる川の恵みとみどり豊かな広大な地に建つ ゆったり時間の流れるみんなの美術館」
- ・話題性で日本一名前の短い名称はどうか。（例）「美」
- ・美術館という名称での展示にステータスを感じ、美術館という名称で、交流的な事業も実施してもよいのではないか。
- ・愛称は美術館、図書館、オアシス公園の3つセットで決めてもいいのではないか。

1－2 開館時間及び休館日について

○主な意見

- ・図書館と美術館は一緒の休みの方がよい。（どちらも行きたい。小中学生は土日に運動系スポーツ活動が多く、月曜日は体を休めたい。）
- ・時間は、図書館と美術館の開館時間を一緒にする必要はない。（図書館は勉強する人が多く、美術館との利用目的が違うため。）
- ・土日、祝日は同じ時間でもよいのでは。
- ・回遊性の把握のため、パーソントリップ調査してはどうか。
- ・喫茶スペースは休館日でも営業したほうがよい。
- ・小学校等が水曜日に職員会議があり、子どもたちが早く帰るので、閉館日は水曜日以外がよい。
- ・図書館と一緒に月曜日休みだと、土日と連続して旅行に来た人たちが来れなくなってしまう。
- ・休館日は設けず、年中無休にする。（日本一開館日が多い施設）
- ・A I 機器セキュリティー等を使用した開館方法はどうか。
- ・季節により開館時間の延長（ナイトミュージアム）

1－3 展示物について

○主な意見

- ・市所有の収蔵品リストを見ると、一度見ればよいかなと思う作品が多々ある。
- ・1番はどう人を呼ぶかで年齢層もあるが、これを飾ると、市内だけじゃなくて、市外の人も見に行きたいよって思えるものを展示してほしい。
- ・企画次第な気がする。（千曲川シリーズとか高社山シリーズとか北信五岳シリーズとか。）
- ・デジタルアーカイブを取り入れ、投票してもらい、人気作品を展示する。
- ・市所有作品だけでは数年で展示作品が尽き、人を呼べる企画を次々打ち出したり、人を呼ぶっていうことを考えると、ざっと見たときは弱い。
- ・企画展については学芸員が中心となり、年に何本か企画を立て、その間のハブになるようなものを一般の方に貸しスペースとして貸してレンタル料を得て、休館日にも観覧できる体制として模索した方が両方から使用料が取れると思う。
- ・市内、市外も含めターゲット年代層を絞らないと、開館時間及び休館日が設定しづらい。また展示内容も決めずらいのでは。
- ・ターゲット年代層を絞らず、多くの人が来てもらう展示企画もよいのでは。
- ・一般の方に美術館の展示スペースを貸すという考えは今のところないのか。
- ・美術館完成前から企画・運営方法等について協議する機関を設置してほしい。

1－4 観覧料について

○主な意見

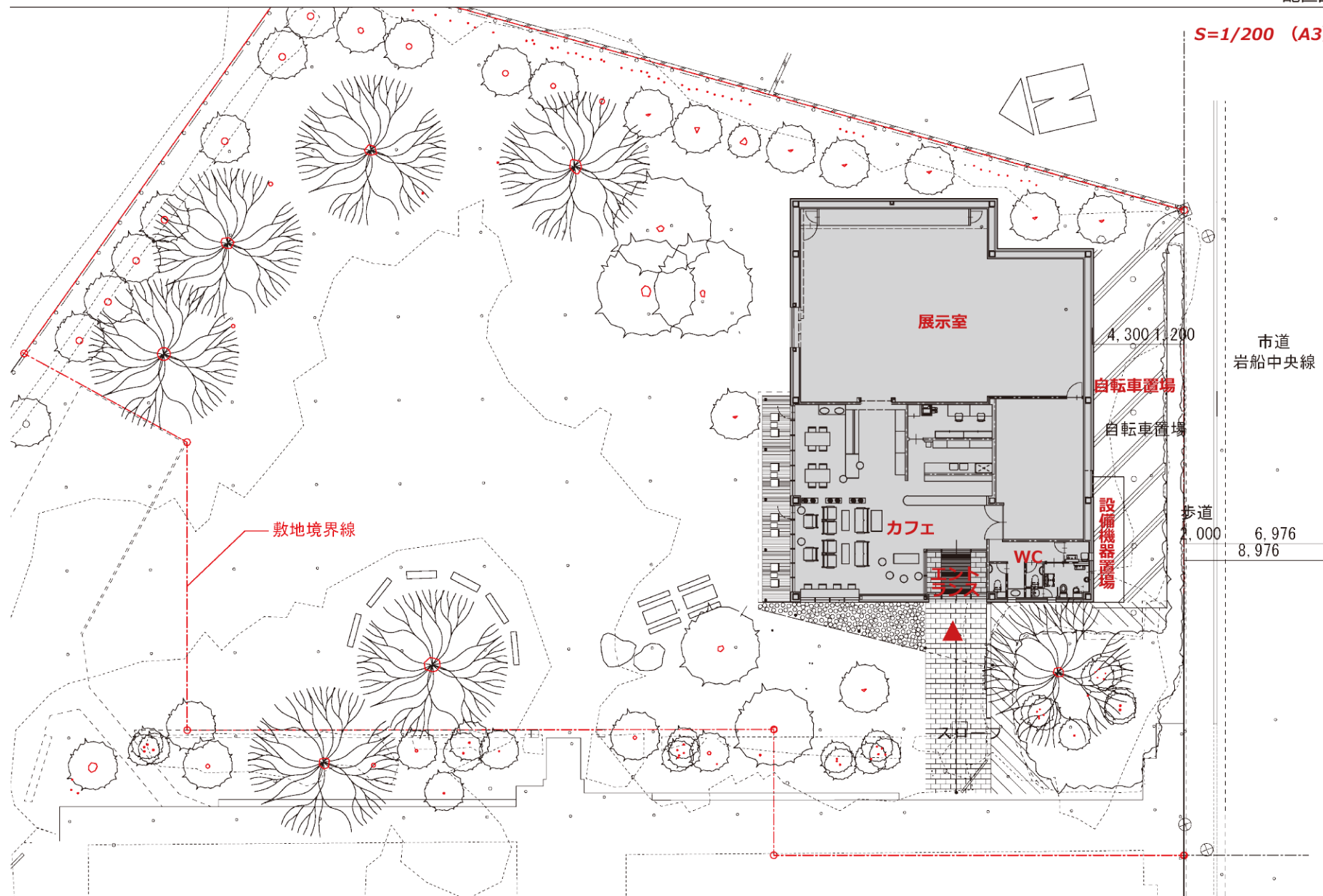
- ・ 近隣施設とのバランスで料金設定してはどうか。
- ・ 子どもに関しては市内、市外で料金差別化を図らず、誰でも文化芸術に触れるチャンスを提供して欲しい。
- ・ 無料にするなら子どもに鑑賞マナーもしっかり伝えていきたい。

2 その他スペースの活用方法等について

種別	実施内容
提供メニュー	・ 軽食（ランチ等） ・ コーヒー・スイーツ等（市内店、近隣ブランド F C、日替わり納品含む） ・ アルコール提供
カフェ・ラウンジ用途 以外のスペース	・ ワークショップ（アート体験）の開催 ・ ミニコンサートの開催 ・ 読み聞かせの実施（図書館との合同企画等） ・ グッズ販売

※いままでの意見等を参考に記載してあります。

S=1/200 (A3)



基本計画コンセプト

④「くつろぎ」「交流」「表現」の空間の創出

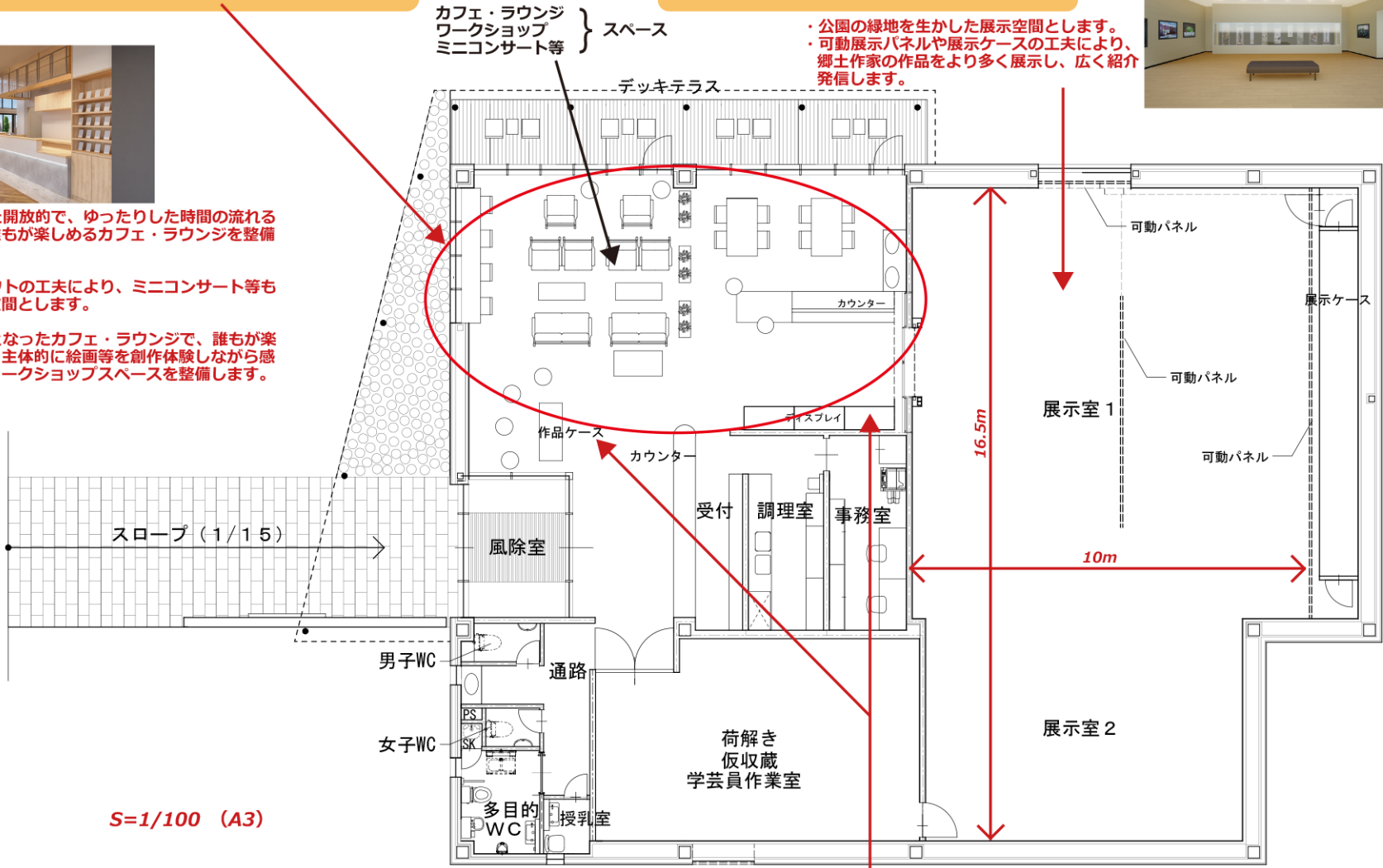


- ・公園に開いた開放的で、ゆったりした時間の流れる癒し空間で誰もが楽しめるカフェ・ラウンジを整備します。
- ・家具レイアウトの工夫により、ミニコンサート等も計画出来る空間とします。
- ・公園と一体となったカフェ・ラウンジで、誰もが楽しみながら、主体的に絵画等を創作体験しながら感性を養えるワークショップスペースを整備します。

基本計画コンセプト

②郷土作家の作品を通じ 地域の魅力を再発見

- ・公園の緑地を生かした展示空間とします。
- ・可動展示パネルや展示ケースの工夫により、郷土作家の作品をより多く展示し、広く紹介発信します。



S=1/100 (A3)

基本計画コンセプト

③本市出身の著名人に係るブースを設け市の新たな魅力を発信

- ・利用者の目にとまりやすいカフェ・ラウンジにブースを配置します。
- ・中野市にゆかりのある方の作品などをディスプレイ棚等により常設展示を行い、市の魅力発信を行います。